

1 教育委員会関係分

(1) 付託事件審査

①議案第41号 平成30年度光市一般会計補正予算（第8号）（教育委員会所管分）

説 明：太田教育総務課長 ～別紙

質 疑

○田邊委員

おはようございます。補正予算書42ページをお願いします。

放課後児童クラブ管理運営事業、この300万円は、放課後児童クラブの人員は1名で
しょうか、何名なんでしょう。

○原田文化・社会教育課長兼人権教育課長

お待たせしました。放課後児童クラブにつきましては、直近の2月1日で申し上げますと、利用者が445名でございます。

○田邊委員

すみません。ちょっと質問の仕方がおかしかったので、その臨時職員の賃金が300万円減ということで、児童の臨時職員が30年度の年度末でこれだけ補正でかけたということなんですけど、募集をかけて減ったのか、それとも最初からやめて、この減額になったのかというところが知りたいと。

○原田文化・社会教育課長兼人権教育課長

すみません。大きな減額要因を申し上げますと、当初予算では全開所日を延長の19時まで、午後7時までで積算しております。

ところが、延長保育がなされない日もございます。そのサンホームで、皆さん6時までに保護者の方が引き取りに来られた場合、そういう部分の減額と、さらには賃金単価を全て資格を持っております放課後児童クラブ支援員の単価で積算しております。

ただ、支援員の単価は時給900円でございますが、補助員の方は810円でございますので、予算の策定時には900円で全員積算しておりますので、その差額等が主な減額の要因でございます。

○田邊委員

はい、わかりました。予算当初で900円で積算して810円にしたというのは、私はちょっとそこまで、90円の下げ幅はちょっときついんじゃないかと思うんですけど、それは何かいろいろあるんでしょうけど、予算当初に300万円ほど予算を組んじょって、そういったところで賃金形態が変わって810円にしたから300万円下がったというところ、そういったところをもう少しわかるように、もう少し見えるようにここで、何とか、30年度の年度末で、そういった補正かけて減らすなら、最初からわかるようにしてもら

いたいなというところが、思いがあります。

以上です。

○西村委員

40ページの説明を再度確認したいんですけども、小学校の整備事業、施設整備工事が減額になったという説明でしたが、入札減額の金額と、この金額が違う内容は、消火栓の何か修理があったというふうな説明でしたが、ちょっともう一度詳細を教えてくださいませんか。

○太田教育総務課長

お尋ねの小学校費の施設整備工事の関係でございます。

小学校の施設整備工事につきましては、島田小学校のトイレ改修、浅江小学校のトイレ改修等がございます。当初予算額として1億564万円を計上しておりましたが、実際に入札等を行いました執行額を差し引きますと、不用額として690万4,000円程度が見込まれます。

先ほど御説明いたしましたように、室積小学校の消火用のポンプに不備があるということがわかりましたので、これを急遽取り替え工事を行う必要がございます。この費用が302万4,000円となり、690万4,000円から302万4,000円を引いた額、388万円をこのたびの減額補正として計上させていただいているところでございます。

○西村委員

消火ポンプの取り替えがあるということで、急を要したという考え方で、同じ科目だから流用したという考え方なのか、これ入札はそもそもこの取り替えに302万円をしたんですか。

○太田教育総務課長

考え方としては、このポンプの取り替え工事につきましては、この3月補正で新たに工事費として302万4,000円を計上した上で、31年度にその額を繰り越そうという手続で考えております。

以上です。

○西村委員

いや、今の説明ようわからんのですけども、最初の説明は、不用額が発生したので、その予算を、急ぐかどうかは知りませんが、使いましたという説明で私は理解したんですが。これ本来なら不用額は不用額で落とす、必要な工事が発生したので、改めてこの補正予算で項目を出して予算をとるといような手続が望ましいのではないかと思います。これもし説明を受けなければ、中身さっぱりわからんまんまに金額だけが動くという結果になりますので、あとのほうの説明が僕は正しいと思うんですけど、別にこれ同じ項目なので、流用したわけじゃないわけですよ。新しい項目をお願いをしたとい

う理解でいいんですか、このポンプの取りかえ工事、これは新しい項目なら新しい項目で書く必要がありませんか、その辺をちょっと確認をしたいんですけど。

○太田教育総務課長

予算書及び補正予算書の説明欄の記載の方法が問題点になろうかと思います。ご覧のように40ページにおきまして、小学校整備事業、施設整備工事ということで、予算書及び本補正予算書につきましても、項目としてはここまで書かれておりませんので、今、委員さんから御指摘がありました点につきましては、十分理解はしておりますが、補正予算書の記載の構成上、ただいまの説明で御理解をいただきたいと考えております。

以上でございます。

○西村委員

わかりました。再度確認ですが、このポンプの取り替え工事というのは、まだしていないという理解ですね。まだしていないと。新しい項目として本来出すべきだったけども、施設整備工事ということで、金額だけの取り合いがここで発生したと、その御説明をいただいたという理解でいいということですよ。

○太田教育総務課長

委員さんの御指摘のとおりでございます。

○西村委員

はい、わかりました。

以上。

討 論：なし

採 決：全会一致「可決すべきもの」

2 政策企画部関係分

(1) 付託事件審査

①議案第41号 平成30年度光市一般会計補正予算（第8号）（政策企画部所管分）

説 明：山岡財政課長 ～別紙

質 疑：なし

討 論：なし

採 決：全会一致「可決すべきもの」

3 市民部関係分

(1) 付託事件審査

①議案第41号 平成30年度光市一般会計補正予算（第8号）（市民部所管分）

説 明：縄田地域づくり推進課長、小田生活安全課長、杉本税務課長、古迫市民部次長、
大山人権推進課長 ～別紙

質 疑：なし

討 論：なし

採 決：全会一致「可決すべきもの」

②議案第42号 平成30年度光市国民健康保険特別会計補正予算（第5号）

説 明：古迫市民部次長 ～別紙

質 疑

○田邊委員

はい、どうも。53ページをお願いします。

補正予算書の53ページで、保険者努力支援分の755万6,000円の減額なんですけど、これのちょっと説明をお願いしたいんですけど。

○古迫市民部次長

保険者努力支援分につきましては収納率や特定健診の受診率等の達成率等に応じまして、県のほうから支出されるものでございまして、その予算が2,312万2千円のところが確定によって、この755万6,000円を減額するものでございます。

以上です。

○田邊委員

はい、わかりました。この制度は、いつぐらいからだったんですかね。

○古迫市民部次長

平成29年度からということでございます。

○田邊委員

はい、わかりました。

それと、基金のことなんですけど、いわゆる県に移行する前の基本的な基金の持ち分というか、市で持つ分というところで、30年度の見込み分で、年度末8億円幾らと思わ

れるんですけど、そういったもの、いわゆる県に移行する前は大体どれぐらいが基本だったんでしょうか、その辺はどうなんですかね。

○古迫市民部次長

基金の適正な額といいますか、一般保険給付費の5%ということで、2億数千万円程度が最低限必要ということで、それだけは確保しておきたいということでございます。県のほうに事業費納付金を納めますので、基金を活用しながら、運営をしていきたいというふうに思っております。

以上です。

○田邊委員

はい、わかりました。国保については、今のところ据え置きでずっと動いちょるんで理解はしているんですけど、そういった基金等の兼ね合いを今後ともよろしく願います。

討 論：なし

採 決：全会一致「可決すべきもの」

③議案第46号 平成30年度光市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

説 明：古迫市民部次長 ～別紙

質 疑：なし

討 論：なし

採 決：全会一致「可決すべきもの」

4 総務部・消防担当部関係分

(1) 付託事件審査

①議案第41号 平成30年度光市一般会計補正予算（第8号）（総務部・消防担当部所管分）

説 明：讃井総務課長、中原消防担当課長 ～別紙

質 疑

○田邊委員

消防よろしいですかね。5ページの今の消防水利管理事業1,800万円、この繰り越しなんですけど、それと、次は38ページの一番下段の消防水利管理事業の減額72万9,000円、これは関係あることなんでしょうか。このところで標札なんかやらなかったというところなんですけど、その辺のところの関係性があるのかないのか、ちょっと教えてほしいなど、お願いします。

○中原消防担当課長

関連性はあるのかということでございますけれども、関連性はございません。以上でございます。

○田邊委員

はい、わかりました。

それでは、38ページの72万9,000円、これは災害のほうを緊急にやって、この消防水利の標札など、そういったものの整備はちょっと遅れたよということで理解をしておりますが、そういった予算は、次でもとるようなかたちなんでしょうか、ここで終わりというところじゃないとは思いますが、どうでしょうか。

○中原消防担当課長

ただいまの消防水利の修繕に係る予算につきましては、来年度は他の事業がございまして、予算計上はしておりませんが、重要な事業でございますので、引き続き32年度からは予算要求をしようとするものでございます。

以上でございます。

○田邊委員

はい、わかりました。災害のほうを緊急にやるというのが市の方針なので、よく理解しております。

でも、そういったものがちょっと飛んで、どこに行くかなとかいうところをちょっと理解したかったので、ありがとうございました。よろしく申し上げます。

○仲山委員

ちょっと伺っておきたいと思うんですけれども、消防団員の退職報償金のところなんですけど、定年退職が8名予定されていたところ追加で9名ですか、こういう状況というのは、ちょっとお話をお伺いしますと、特別な状況かなと思うんですが、何か要因として共通した何かがあったんでしょうか。

○中原消防担当課長

退職者の要因に何かあったのかということでございますけれども、消防担当部といたしましては、自己都合による退職が増えたということで認識しております。詳細な理由については、調査を行っておりませんし、存じ上げません。

以上でございます。

○仲山委員

ことしに関して特別な、たまたま重なったということなのか、そうじゃないのか、ちょっと気になるころではありますので、引き続き、年次ごとに見ていくことかもしれませんけれども、少し事情が気になります。ちょっと余りに多いので、そのあたり、また調べておいていただければと思います。

討 論：なし

採 決：全会一致「可決すべきもの」